

●議会レポート

県市議会議長会議

- 4月5日
・渋井 康男 議長
・大河原 千晶 副議長

関東市議会議長会議

- 4月27日
・渋井 康男 議長

県北五市議長会議

- 6月1日
・渋井 康男 議長
・大河原 千晶 副議長

議場見学

- 6月21日
熟田小学校3年生

塩谷広域行政組合議会臨時会

- 5月27日
・渋井 康男 議長
・石岡 祐二 議員
・鈴木 恒充 議員
・矢澤 功 議員

各種委員会等出席

- 保育園運営審議会
・加藤 朋子 議員
・鈴木 恒充 議員

決算審査

- 6月27日
・石岡 祐二 議員

表彰状・感謝状

- 全国市議会議長会表彰状



監 査

- 例月現金出納検査
4月25日
5月27日
6月27日
・石岡 祐二 議員
- 栃木県都市監査委員会定例会
(オンライン講演会)
5月27日
・石岡 祐二 議員

●議会の動き

4月

- 1日 辞令交付式
4日 栃木県市議会議長会監事会
5日 栃木県市議会議長会議
6日 議会広報委員会
道の駅きつねがわ 丸形ポスト除幕式
13日 議会広報委員会
14日 議員全員協議会
いきいきクラブ連合会総会
総合公園再整備完成記念イベント
議会新型コロナウイルス感染症対策会議
議会運営委員会視察研修（～20日）
身体障害者福祉会総会
20日 議会広報委員会
23日 栃木SC さくら市民デー
25日 例月現金出納検査
27日 関東市議会議長会定期総会
28日 栃木県戦没者合同慰靈祭

5月

- 9日 ソフトボール協会総会
10日 いちごー会とちぎ国体・とちぎ大会さくら市実行委員会第4回総会
13日 区長会総会
16日 総務常任委員会視察研修（～18日）
文教厚生常任委員会視察研修（～18日）
建設経済常任委員会視察研修（～18日）

5月

- 19日 議員全員協議会
議会運営委員会
第2回臨時会
20日 五穀豊穰を願う粟播種の会
26日 五穀豊穰を願う米田植の会
27日 塩谷広域行政組合議会臨時会
例月現金出納検査

6月

- 1日 県北五市議長会議
2日 第2回定例会開会
議会広報委員会
3日 第2回定例会一般質問
6日 第2回定例会一般質問
8日 第2回定例会建設経済常任委員会
9日 第2回定例会総務常任委員会
10日 第2回定例会文教厚生常任委員会
16日 第2回定例会閉会
議会報告会検討委員会
17日 塩谷市町村議会議長会議
27日 決算審査
例月現金出納検査
保育園運営審議会
29日 議会新型コロナウイルス感染症対策会議
30日 古河市議会副議長就任あいさつ来庁
本田技術研究所HRC-sakura所内視察

議会運営委員会

先進地に学ぶ

日時：令和4年3月24日(木)

詳細は
こちら→



▶「より開かれた議会」の取り組み 栃木県 那須塩原市



調査項目

- タブレットの積極的活用
オンライン会議の導入。執行部の事前説明はオンラインで。
- 請願・陳情
取り扱いルール設定。意見書作成は議員が行う。
- 予算、決算審査
各常任委員会分科会で審議→予算/決算審査常任委員会（全員）で審査→本会議で審議、討論、採決の流れ
- 通年議会
令和3年5月開始、会期は一年。メリット「会議の即時性」「市政への監視機能、政策立案機能の強化」「市長専決処分の抑制」



感想

「議会改革調査2020年ランキング全国13位」の意識の高さを感じた。

議会運営委員会

先進地に学ぶ

日時：令和4年4月19日(火)～4月20日(水)

詳細は
こちら→



▶市民との意見交換会と複数の常任委員会所属 山形県 長井市



調査項目

①市民との意見交換会

地区別と分野別及び市民団体等の要請で行うものがある。回答は常任委員会で行い、議会便りで報告、市長へ意見書として提出する。

②議員の複数の委員会所属

条例により「総務」「文教」「厚生」「産業・建設」4つの内2つの委員会に所属。幅広い分野を経験できる反面、一日一委員会しか開催できないデメリットも。

▶政策提言と意見交換会 山形県 川西町



調査項目

政策提言

町民との意見交換会→広報公聴常任委員会→各常任委員会→執行部へ。

執行部からの回答は「施策を必要とする背景」「提案に至るまでの経緯」「住民参加の実施の有無及びその内容」「他の自治体の類似する政策との比較検討」「総合計画における根拠または位置づけ」「財源」「将来にわたる政策の効果およびコスト」の7つの視点で5段階評価を行う。

感想

長井市、川西町議会の積極的な取り組みと、議員各自の議会活動に対する意識の高さを感じることができた。

議会広報委員会

先進地に学ぶ

日時：令和4年3月24日(木)

詳細は
こちら→



▶議会だよりの紙面づくり 島根県 浜田市 (オンライン)

調査項目

①広報公聴委員会活動

読者アンケートに寄せられた意見は所管委員会を経て議会だより、議会HPで回答を公開。広聴制度としては「地域協議会との意見交換会」「はまだ市民一日議会」「常任委員会への申し入れ」「議会報告会の開催」「傍聴者アンケート」「議長何でもメール」があり、広報では「議会だよりの増刊」「各議員個人のウェブサイト等をリンク」している。

②議会だより

予算削減と情報の即時性を目指して「はまだ議会だよりmini」をウェブで発信。

③動画配信と議会のICT化



感想 市民と議会のキャッチボールが、政策討論会へと発展する等の政策形成サイクルが定着している。市民は「自分たちが市政の中心にいる」という事を実感し、議会への関心を高めることに繋がっていると感じた。

総務常任委員会

先進地に学ぶ

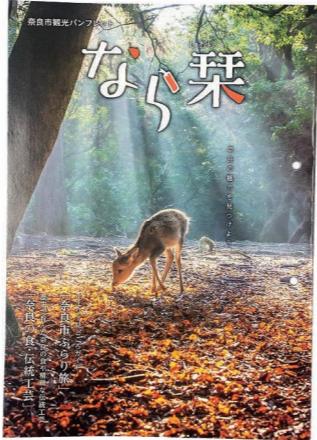
日時：令和4年5月16日(月)～18日(水)

詳細は
こちら→


▶RPA活用推進 奈良県 奈良市

調査項目

ロボティク・プロセス・オートメーション（仮想知的労働者 RPA）
パソコン上での帳簿入力、伝票作成、ダイレクトメール発送業務等の定型作業を自動化するソフト。時間外手当が縮小し、人件費が大幅に減少。



感想 本市でも導入検討の必要性を感じた。

▶八木駅南市有地活用事業 奈良県 檜原市

調査項目

庁舎兼観光施設の複合施設を大和八木駅南側に整備
低層部は総合窓口を有する庁舎、高層部に宿泊施設、最上階に展望施設を配備。奈良県産木材を積極的に活用。コロナ禍でも平均7割の使用率を維持。



感想 本市の駅周辺再開発の参考になると思った。

▶SDGs未来都市 兵庫県 明石市

調査項目

「あかしSDGsパートナー制度」

市内事業者、市民団体79団体が登録、助成金をもとに様々な活動に取り組んでいる。



感想 本市でも具体的な取り組みを広げていく必要を感じた。

文教厚生常任委員会

先進地に学ぶ

日時：令和4年5月16日(月)～18日(水)

詳細は
こちら→


▶地域の安心・安全 兵庫県 伊丹市

調査項目

1,200台の防犯カメラ設置

市長自ら地域に出向いて、住民の意見を聴き、多数の賛成を得て設置。カメラにビーコン受信機（電波を利用し位置を特定する装置）も設置して、登下校の安全確保や徘徊高齢者の捜索にも利用している。



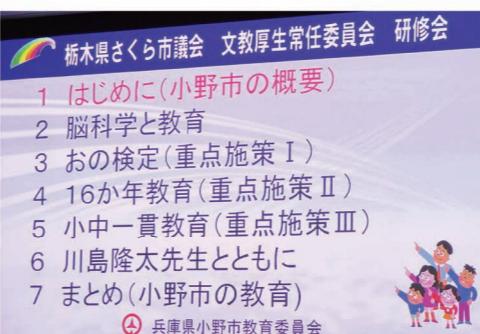
感想 本市では設置費用を含めた検討が必要と感じた。

▶脳科学に基づく教育 兵庫県 小野市

調査項目

脳科学研究をもとにした効果的な教育

東北大学川島隆太教授を教育行政顧問に迎え、市独自の「おの検定」を実施。児童生徒からは「集中力がついた、やる気が出てきた」「家庭学習する習慣がついた」などの声が上がる。全国学力・学習状況調査の基礎分野で正答率がアップした。



感想 本市でも参考になる事業である。

▶こどもを核としたまちづくり 兵庫県 明石市

調査項目

9年連続人口増の要因 市独自の無料化施策

「医療費は高校生(18歳)まで無料」「給食費は中学生無料」「保育料。第2子以降は無料」「遊び場は親子とも無料」「おむつ満一歳まで無料」

これら無料施策で市民満足度が大きく上昇し、子育て層と子どもの転入が大幅に増加。税収入増にも結び付く好循環の拡大が、さらなる施策の充実につながっている。

こどもを核としたまちづくり

すべてのこどもたちをまちのみんなで支える

- 全国トップクラスの
安心感
**明石独自の
5つの
無料化**
所得制限なし
- ① こども医療費
 - ② 中学校給食
 - ③ 保育料
 - ④ 遊び場
 - ⑤ おむつ(宅配も)

感想 本市においても思い切った子育て関連予算増、人員増などに期待する。

建設経済常任委員会

先進地に学ぶ

日時：令和4年5月16日(月)～18日(水)

詳細は
こちら→


►観光プロジェクト 岡山県 倉敷市

調査項目

「倉敷市観光振興プログラム」

観光客の大半が近隣関西圏からで、滞在時間が短い。そのため今年度倉敷美観地区と児島地区を結ぶバスの運行を計画。



感想

本市でも「観光振興計画」策定が重要であると感じた。



►過疎自治体が出生率トップ級になったインフラ整備 岡山県 奈義町

調査項目

人口減少対策により合計特殊出生率2.95を記録

定住化に向けた町営分譲地の造成、新築住宅建設補助、若者向け町営賃貸住宅の建設、民間分譲地整備にも補助を出している。子育て支援も手厚く、高校生・大学生の就学支援、学校給食費の助成、様々な子育て支援を行う「なぎチャイルドホーム」を設置。

感想

住居、子育て負担軽減、悩み相談、町全体が子育てを応援してくれる安心感が出生率増大のカギだそうである。

►特産品による町おこし 兵庫県 福崎町

調査項目

昭和30年代で栽培が途絶えたもち麦を、特産品づくりを考える中で復活させ、もち麦麺を完成させた。もち麦を核としたまちづくりとして「もち麦フォーラム」「もち麦祭り」「もち麦料理教室」小学生を対象とした食農教育などの取り組みを行う。



感想

本市としても非常に参考になると感じた。



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。
これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

収入減となった農家への支援策は。

令和4年 第1回定例会

現状は…

コロナ禍で外食産業は打撃を受け、それに伴って米の消費は大きく落ち込み価格も大幅に下がりました。そこで、さくら市では米生産農家の意欲減退を抑え、経営安定につなげるため助成金を給付しました。しかし、交付対象者が限定的であるという課題を議会から指摘されました。

今後は…

今年度、認定農業者の要件を削除しました。
なお、令和4年産米につきましても、消費量の減少、価格の低迷が予想されることから、今年度は市単独補助事業の拡充、米からの作付転換を推進するための事業、原油価格高騰等による農業者の負担軽減に関する事業を実施していきたいと考えています。

(参考)

●助成金交付対象者(1から8の要件をすべて満している方)

1. 市内に住所がある方
2. 主食用米の作付面積が30アール以上ある方
3. 作付けした主食用米を集出荷業者等に販売している方
4. 認定農業者(法人を含む)又は認定新規就農者
←この要件を削除
5. 令和3年産の主食用米の作付参考値を達成している方

●助成金の額

主食用米の作付面積に応じて助成金を交付

主食用米作付面積	助成額(円)
2ha未満	30,000
2ha以上5ha未満	50,000
5ha以上10ha未満	100,000
10ha以上	200,000

市民の声

花と緑の街作り

おおはし
大橋 けんご
堅固 (伝馬町)

総合運動公園ゲートボール場の廻りは何年も前から花一杯に取り組んでおり、春は桜、夏は紫陽花、秋は鳳仙花が咲き乱れ、一部市民の憩いの場ともなっています。従ってこのような所から広げていくのもいいかもしれません。

花と緑は市民が寄り添えるようなものでなければ、また身近に鑑賞できること、例えば、さくら市民スタジアムの廻りを花で整備すれば、周りを散歩している方々も楽しめると思います。

また既に、駅前琴平通り空き地に緑の芝生と花と小さなテーブルを設置していますが、このような場所を増やすのもいいかもしれません。

いずれにしても、柔軟な姿勢で、市民参加型をお願いしたいです。



《表紙写真》

さくら市ゲートボール協会

対象：小学生以上～年齢制限無し

練習日：週3回(火、木、土)9時～午前中
皆様、ゲートボールをおやりにならなくても、会場に一度、お越しください。色とりどりの季節の花が迎えてくれます。

お問い合わせ：☎090-2237-9165または

☎028-682-0753

メール：khtm23001@yahoo.co.jp

議会広報委員会



掲載写真は、撮影時のみマスクを外しております。

お知らせ

次回 9月定例会予定

9月1日(木)～9月21日(水)

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。



※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。

※2 議員の初盆での御香典や寄付は、公職選挙法により禁じられています。